2010年農林業センサス 農山村地域調査の項目設定の考え方について(案)

調査項目数

2005年農林業センサス

〇地域状況の基本的な把握

- 市街化区域、豪雪地帯、離島など地域の状況
- ・農業集落から人口が集中している地域(DID)への移動時間
- ・国立公園、鳥獣保護区、自然公園などの自然保護の指定

〇地域資源の把握

- ・総土地面積、林野面積、耕地面積 等
- ・人工林、天然林の材積量 (森林蓄積)
- 不在村者の私有林面積

〇地域資源の保全

・水源林の維持

〇地域資源の活用

業の取組

- 農業用用排水路の保全
- 棚田、谷地田の保全

- ・農林業体験学習の受入などの交流事
 - ・市民農園 等 産地直売所

※青字は農業集落、緑字は市区町村、黒字は両方で把握

等

項目の活用と評価

◇ 農山村地域の

基本構造の把握

- ◇ 農林業施策の推進に必要な項目・ 品目横断的経営安定対策の規模
- 品目横断的経営安定対策の規模 要件に利用
- 特定農山村地域の指定要件
- ◇ 地方交付税の算定の基礎

◇ 新たな施策ニーズへの対応(農村地域の再生・活性化対策等)

- ◇ センサス(全数)での詳細な調査が必要ないもの
 - ・ 標本調査の母集団情報として必要な項目を把握
 - ◇ 調査結果が参考程度の利 用であるもの
 - ◇ 過去に利用されていたが、 現在利用が少ないもの

2010年農林業センサス

市区町村 2005年 37項目 → 2010年 11項目

農業集落 2005年 32項目 → 2010年 16項目

市区町村調査

農業集落調査

国の職員による聞取り調査 →往復郵送調査(自計) 国の職員による聞取り調査 →調査員調査(自計)

等

継続して把握

- 総土地面積
- 林野面積
- •森林計画面積 等
- ・地域の状況
- 耕地面積

新たに把握

- 総戸数
- 寄り合いの回数
- 実行組合の有無

母集団情報として 簡素・効率化して把握

• 産地直売所

廃止

- 耕地面積
- ·森林蓄積
- 棚田、谷地田
 - ・地域資源の活用 等